



胎内市立築地中学校  
令和5年2月24日  
NO. 11  
文責：校長 伊東 寿明  
学校だより作成委員会

## 「反抗期」について

教諭のときに保健の授業で、「心の発達」という単元があり、反抗期についてやストレスの対処などを学習していました。今回は、反抗期について考えてみたいと思います。

「うちの子反抗期みたいで、家であまり話さないんですよ」という声をときどき耳にします。

反抗期は、男子で12～14才、女子で10～12才くらいから始まり、初めは、友達や仲間と群れとして行動するようになり、その後、自分について考える時期が来ます。それが反抗期の始まりと言われています。孤独になりたがるので、声をかけると「べつに」とか「うるさいなあ」などとそっけなく返事をしたりします。そして身近な大人に対して意味なく反抗します。この反抗期は、どの子どもにもその時期は来ると言われています。それは、脳と心の発達の過程で起こるからです。

反抗期の終わりは、自分に対する自尊心が高まり、自信を持って行動できるようになるときです。

築地中学校の生徒の様子を見てみると、反抗期かなと思うような子どもが多くは見当たりません。朝、生徒玄関でちょっと無愛想な感じだなあと思っても「おはようございます」と自分から元気なあいさつをしてくれます。家に帰ると様子が変わるのかも知れませんが、以前に比べたら反抗期だなあと思う子どもはとて少なくなりました。

あるデータでは、30年前は、自分に反抗期があったと応えた人は75%だったのが、今は50%くらいだと言っています。現在の中学生は、もっと少なくなっていると思われます。

反抗期がなかった理由として、以前は「部活動や勉強などに打ち込んでいたから、特に反抗することがなかった」とするものが多かったのですが、最近の理由は、親の育て方が変わってきて、褒めて育てる親が多くなったからではないかと言われています。子どものことをよく見て育てているために、自然と子どもの自尊心が高まっていると考えられます。

また、私の思うところでは、いろいろな情報を手に入れやすくなり、それらの情報からより適切に考え、行動しようとしていることから、大人に反抗するよりも良い方法を見つけて行動しているからではないかと考えられます。

また、そもそも反抗するエネルギーをもっていないか少ない子どもが多くなったという意見もあります。確かに反抗するよりもおとなしく言うことを聞いていた方が楽だとか自分のためだとか思っている子どもも増えているのかもしれない。

反抗期がないと立派な大人になれないのではないかと疑問をもったり、中には危機感をいだいたりする方もおられるかも知れませんが、私が以前教えた人たちの中で、中学校時代に反抗期があったと思われる人は、だいたい元気な大人になっています。だからといって、おとなしくものわかりがよく反抗期はなかったかなと思われる人も、多くは元気で明るい大人になっています。その人のもっている特性や環境、体験してきたことなどの方が、大人になるときに大きな影響を与えるように思います。反抗期があってもなくても、子どもたちを大切に見守り育てていくことが大切なのだろうと思います。

## 第2回生徒総会を行いました

2月15日(水)に、第2回生徒総会を行いました。生徒会長が、「1年生は来年度、先輩として活動していく立場として、2年生は来年度、実際に生徒会を動かす立場として、3年生は最後、がんばってきたことをかみしめてこの生徒総会に臨んでほしい」とあいさつをした後、今年度の振り返りを生徒会執行部、各専門委員長、各部長が発表をしました。それに対して、学級で出された意見を、多くの生徒が発言し、総会を大いに盛り上げました。



閉会の言葉では、生徒会副会長が、「来年度につながる話し合いができました。今年度の反省を生かし、来年度取り組んでほしい」と後輩に思いを託していました。

## 3学年PTA活動 ～3年間の感謝の気持ちを込めて～

2月21日(火)に、3学年PTA奉仕作業を行いました。3年生と保護者が約1時間、日頃できない床磨きやトロフィーカップ棚の清掃をしました。活動後に、3学年委員の平野恭哉さんが、「普段親子で、清掃をする機会はありませんが、親子で一緒にきれいにできてよかったです」と話をしていました。伝統ある校舎に感謝の気持ちを込めて清掃することができました。



## 卒業式に向けて

3月6日(月)に第76回卒業証書授与式が行われます。27名の卒業生の前途を祝福するため、生徒全員が式練習や合唱練習、また、3送会に向けた準備活動等に励んでいます。職員、在校生一同、心を込めた感動の卒業式にしていきたいと思えます。

なお、卒業式は、感染症対策のため、卒業生と保護者、在校生、教職員、胎内市教育委員会のみのお出席となります。来賓の皆様には出席をご遠慮していただいております。

在校生合唱は「旅立ちの日に」、卒業生合唱は「あなたへ ～旅立ちに寄せるメッセージ～」です。

3月の卒業式、4月の入学式に向け、後援会から看板を作っていただきました。大変感謝しております。



## 保護者アンケートの中でいただいたご意見

○いつもありがとうございます。少人数ながら、元気に学校を盛り上げていこうという気持ちを感じられる学校だと思います。保護者も含めて全員で生き生きとして盛り上げたいです。

⇒ ありがとうございます。今後も、行事だけでなく、日頃から保護者の皆様と協力し合い、子どもたちのよりよい成長にかかわっていきたくと考えています。

○定期テストが今年から3回となりましたが、テスト範囲も広がって大変なので4回に戻してほしいです。

○第2回テストの質問教室が無かった理由が知りたいです。定期テストが3回になったことも疑問です。これまでやってきているのですからできると思います。

### 定期テストについて

⇒ 「3年生の成績を早く出して、進路指導に活用するため、今年度でいう2回目のテストを2週間早くしたこと」、「9月から10月にかけて、体育祭、いじめ見逃しゼロスクール集会、合唱祭と大きな行事が続いており、生徒の準備活動が忙しいこと」が理由です。また、定期テストだけではなく、毎週実施している基本テストや、授業の中で行われているWeb配信集計システム(トッキッキテスト)、単元テストやレポート、パフォーマンステスト等で、評価するようになってきていることも理由として挙げられます。来年度のPTA総会時、説明させていただきますのでよろしくお願いたします。

### 質問教室について

⇒ 授業の時間の中で、テストの勉強をする時間を設けており、その時間にも質問を受け付ける場面をとっています。第1回テスト前の質問教室に希望者が少なかったこともあり、第2回テスト前の質問教室をやめることにしました。ただ、やめないでほしいというご意見があったので、第3回テスト前は行いました。来年度も可能な限り、行う予定にしております。

○部活動も時代に見合った指導をしてほしいです。

⇒ 2018年に出された運動部のガイドライン(週あたり2日以上(少なくとも、平日1日以上、土日1日以上)を設けること、また1日あたりの活動時間は、長くとも平日では2時間程度、土日は3時間程度)に沿って活動を行っています。また、根性論的な過度な指導にならないように配慮しています。もし、不適切な指導があれば、顧問または、教頭にご相談ください。

○玄関の排水が悪いのでなんとかして欲しい。

○壁の白い粉が制服につきます。

⇒ 校舎が老朽化しており、順に修繕するよう市教育委員会に要望しています。廊下の床や天井の壁、生徒玄関の入口の戸など少しずつよくしてもらっています。また、本年度中に、2、3階女子トイレを1つずつ洋式トイレにしてもらう予定です。

## あいさつキャラバン隊が来校しました

胎内市は毎月10日を「あいさつの日」としており、2月10日(金)に、市の『あいさつキャラバン隊』が来校され、朝のあいさつ運動を行いました。いつも通り、子どもたちは、さわやかなあいさつをしていました。この日に合わせ、学校の近くでいつもあいさつをしてくださっている地域の方も来てくださり、「築地中のあいさつはだんだんよくなってきて、地域の皆さんも喜んでいきます」と伝えてくれました。さらに、あいさつの良い学校を目指して取り組んでいきたいと思っています。



